

令和3年度第5回運営推進会議報告書

開催日時		令和4年1月20日(木)
参加者		議題
利用者	1名	(1) 入居者状況
利用者家族	9名	(2) 活動状況(11月、12月)
地域住民の代表者	2名	(3) 今後の予定(1月、2月)
市職員	1名	(4) 苦情・事故・ヒヤリハット報告
はたやま地域包括支援センター職員	1名	(5) 身体拘束の適正化について
柘訪問看護ステーション	1名	(6) ご意見・要望・提案・助言
薬剤師	1名	(7) その他
事業所	3名	
会 議 録		
<p>※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面開催を中止とし、各委員へ意見照会をしました。</p> <p>(1) 入居者状況</p> <p>12月31日現在 8名(平均年齢 85.5歳、平均要介護度 2.6)</p> <p>要介護1:1名 要介護2:3名 要介護3:2名</p> <p>要介護4:2名 要介護5:0名</p> <p>※ 11月14日 1名 入院中の方が、退居されました。</p> <p>※ 12月 1日 1名 女性 91歳 要介護1の方が入居されました。</p> <p>※ 12月19日 1名 女性 逝去されました。</p> <p>(2) 活動状況(11月、12月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三浦内科クリニック往診 11月22日(月)、12月20日(月) ・柘訪問看護ステーション訪問 11月2日(火)、16日(火)、30日(火) 8日(月)(訪問リハビリ) 12月7日(火)、21日(火)、28日(火) 14日(火)(訪問リハビリ) ・青木歯科往診 11月4日(木)、18日(木)、24日(水)(歯科衛生士) 12月2日(木)、16日(木)、22日(水)(歯科衛生士) ・みゆきファーマシー訪問 毎週1回(居宅療養管理指導…薬セット管理) ・ハート治療院訪問 週3回(希望者に訪問マッサージ治療) ・お誕生日会 11月1日(月)、28日(日) ・紅葉ドライブ 11月21日(日)(定光寺) ・クリスマス会 12月23日(木)(デイサービス共想いの家と合同) ・訪問理美容 12月25日(月) ・浄化槽点検 4日(木) <p>※ 介護職員のPCR検査を、11月及び12月に実施し、その結果は全員陰性でした。</p>		

(3) 今後の予定（1月、2月）

- ・初詣、お誕生日会、節分会等

(4) 苦情・事故・ヒヤリハット報告

- ・苦情 0件
- ・事故 4件 11月下旬 ベッドからずり落ち、ベッドにもたれかかり床に座っていた
- 12月下旬 ベッドからずり落ち、ベッドにもたれかかり床にすわっていた。
- 12月下旬 自分の爪で額に傷をつけ出血した。
- 12月下旬 顔に当てていたおしぼりを取ろうとして自分の爪が額に当たり赤くなった。
- ・ヒヤリハット 0件

(5) 身体拘束の適正化について

- ・身体拘束なし
- ・eラーニング研修 「介護現場における事故・虐待・苦情を防ぐリスクマネジメントについて」

リスクマネジメントについて学び、職員間の利用者の行動の事前予測、気づき、利用者の情報を共有する意識の重要性を学びました。

転倒リスク高く、夜勤職員1人の時、ベッドからずり落ち、床に座っていた事故がありましたが、今後もこのような事故は、発生する可能性が懸念されることもあり、骨折などの大きな事故につながらないためにも対応策を検討しました。

その際、利用者の安全を確保しつつ、利用者の身体拘束に繋がりにくい行動制限をしない方法を講じる必要があることを職員間で情報共有しました。

(6) ご意見・要望・提案・助言

市職員から

- ・入居者状況について

12月19日にご利用の方が逝去されたとのことですが、コロナ禍の中、ご家族の方はどの様に対応されましたか。

→食事中に突然心不全となり逝去されました。家族には、急変時直ぐに連絡をし、救急車を呼び管理者と職員が電話で救急隊員の指示を受け、応急処置（心臓マッサージ）をし、救急隊員が到着後交代しました。救急隊員が処置している間、家族に連絡し、病院へ搬送となりました。管理者が救急車に同乗し、家族には病院に来ていただきました。医師から家族に、延命治療の希望の有無を問われましたが、延命治療は望まないとのことでした。その後家族に看取られながら亡くなられました。

- ・苦情・事故・ヒヤリハットについて

11月と12月に、ベッドからずり落ち、ベッドにもたれかかり床に座っていた案件が2件ありましたが、時間帯はいつ発生しましたか、同一のご利用者様ですか。

→時間は、午前5時15分と8時10分で、同一のご利用者様です。

- 各々の事故の再発防止策について、「6 身体拘束の適正化」と関連して、事業所内においてどのように対応されていますか。
→同一利用者様のベッドからのずり落ちの件につきまして、とてもお元気になられたので、ベッドに横になり目覚められた時等、サイドレールにつかまり、床に降りようとされることが増えてきました。そのため、赤外線センサーを設置することにしました。身体拘束に該当するベッドを4点柵で囲むことを避けるため、ベッドで休まれている時は、サイドレール位置から1m離れた場所に赤外線センサーを設置しました。赤外線センサーは、サイドレールをつかんだり、降りようとした時など、センサーがキャッチして鳴るので、職員も早めに訪室することができ、再発防止につながっています。

はたやま地域包括支援センター職員から

- 転倒リスクの高い方に対して対応策を検討されていたり、情報も職員間で共有されていることがわかりました。研修で学ばれたことも生かして今後も続けていってほしいと思います。具体的にどのような対応策にされたのか教えていただけるとありがたいです。
→上記の質問に対する回答を、ご確認ください。

柵訪問看護ステーション（リハビリ職員）から

- 転倒リスク高い方増えてます。継続して見守りお願いします。
→いつも迅速な対応や丁寧な指導をいただき、とても心強いです。

入居者ご家族様から

- いつもきめ細かく対応して頂いて感謝しております。「あかり通信」をいただいていると、コロナ禍で自由に面会が出来ない状況でも本人の元気な姿を確認することが出来て安心します。
→「あかり通信」を見て安心していただき、嬉しく思います。

入居者ご家族様から

- 利用者の安全にご配慮いただきありがとうございます。
毎月いただける報告書（あかり通信）も、生活の様子がよく分かり、安心につながります。
→「あかり通信」を見て生活の様子がよく分かり安心につながるとのお言葉に嬉しく思います。これからも笑顔あふれるよう支援していきます。

(7) その他

- 2月及び3月に、月2回の予定で介護職員全員にPCR検査を実施する予定です。

次回開催予定 令和4年3月17日(木) 14:00~